

- (3) 図2は、気象衛星ひまわりが撮影した画像の一部を拡大したものです。この日の画像の説明として [] に適するものを選び、○で囲みなさい。

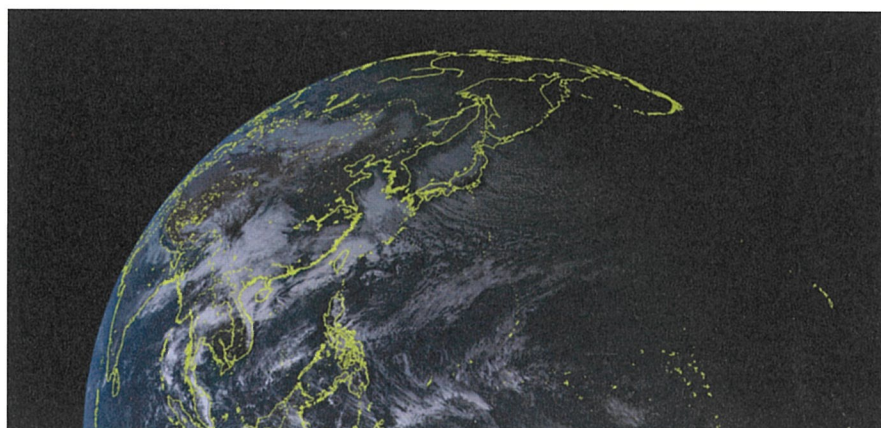


図2 気象衛星ひまわりによる日本付近の雲画像

気象庁ホームページより掲載

日本海にすじ状の雲があらわれているので、撮影された季節は①[冬・夏] である。この雲の方向は②[北西・南東] の季節風の方向に一致している。大陸にある優勢な③[高気圧・低気圧] から吹き出した季節風である。画像の右側が暗くなっていることから、撮影されたのは、日本の④[午前・午後] の時間帯であることがわかる。

気象衛星ひまわりは、地球をすっぽりとおおう画像を撮りますが、実は図3のように、少しだけ周りの宇宙も写ります。すると、明るい星が地球の近くに写ることがあります。

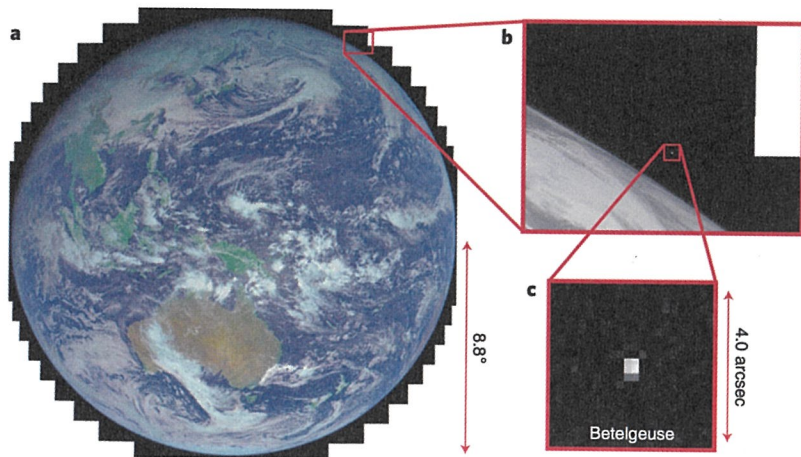


図3 気象衛星ひまわりの画像に写ったベテルギウス（オリオン座の一等星）

NatureAstronomy, VOL6, August9302022, 930-935の図をそのまま掲載

arcsecは非常に小さい角度を表す単位

(4) 気象衛星ひまわりの画像に写る星について、正しい文を2つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 北極星が地球の北極のすぐ上にいつも写る。
- (イ) 北斗七星をつくる星はひとつも写らない。
- (ウ) オリオン座のように、日本で冬に見える星座の星だけが写る。
- (エ) 地球の赤道上で、ほぼ真上に見える星が写りやすい。
- (オ) 日本で夜12時に、真南に見える星ほど写りやすい。
- (カ) 星が写るのは、日本が高気圧におおわれている時に限られる。